

会 議 録

1 会議名

令和7年度第5回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 報告事項(公開)

- ・ 柿崎区新保育園整備事業の取組状況について
- ・ 廃校施設の利活用に関するサウンディング(民間対話)型市場調査の結果について

(2) 自主的な審議(公開)

- ・ 柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について
- ・ 団体との懇談結果及び自主的な審議事項のテーマについて

(3) その他(公開)

3 開催日時

令和7年8月19日(火) 午後6時30分から午後7時36分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・ 委 員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員、
坂木委員、佐藤(達)委員、佐藤(ま)委員、滝澤委員、
蓑輪委員、山川委員
- ・ 幼児保育課：黒津課長、徳永副課長、松井係長
- ・ 事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、片岡次長、
荻谷産業グループ長、横尾建設グループ長、

石川市民生活・福祉グループ長、岩片教育・文化グループ長、
長井地域振興班長、熊木副主幹

8 発言の内容（要旨）

【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に石田委員を指名。
- ・次第4の報告事項に入る。報告事項(1)柿崎区新保育園整備事業の取組状況について幼児保育課から報告をお願いします。

【幼児保育課 黒津課長】

- ・新保育園の整備については、これまでの間、この地域協議会の場においても、地域の声をしっかり聴くようにとの助言をいただいていたところである。本日は、新保育園の建築等に係る設計業者を選定する前にアンケート調査を実施することにしたので、事業の進捗状況と合わせて、その概要を説明させていただく。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・本年5月の地域協議会においても、令和7年度における新保育園整備事業の取組内容と合わせて、施設配置のイメージ案や今後の予定について説明したところである。本日は、それら取組内容のうち、直近で実施を予定している2つの取組について概要を説明させていただく。
- ・まず一つ目の取組として、新保育園の整備等に関するアンケート調査の実施について説明する。

（資料1により説明）

- ・次に新保育園新築工事設計事業者選定プロポーザルの実施について説明する。

(資料1により説明)

- ・プロポーザルの実施に当たっては、適正な方法で設計事業者を選定し、速やかに業務着手できるよう取り組んでいきたい。本日の説明は以上だが、今ほど説明した取組内容を始め、引き続き、子どもの目線を大切にしながら保護者や地域の意見も丁寧に聞いた上で、長く地域に愛される保育園の整備を確実に進めていきたい。

【吉井会長】

- ・ただ今、幼児保育課から説明があった。今の説明に対し質問はあるか。

【滝澤委員】

- ・アンケート調査の結果等については集約作業完了後、対象者へ公表という形になっているが、その内容については、私どもにもお示しいただけるのか。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・資料では「対象者等へ」という表記になっているが、この「等」というところに地域協議会も含めている。公表時期については、現時点でお伝えできないが、結果の公表はさせていただく。

【滝澤委員】

- ・その「集約」というところだが、よく「その他」に振り分けられる回答があるが、そういったものも、詳しくお示しいただけるのか。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・お示しできるものは、お示ししたい。ありのままの情報を可能な限り、お伝えできれば良いと考えている。

【滝澤委員】

- ・期待している。

【吉井会長】

- ・ほかに質問はないか。

(質問なし)

- ・2か月後を目途にということなので11月あるいは12月くらいに地域協議会にも報告していただけるのかと思うが、そのようなスケジュールで良いか。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・2か月後を目安に考えているのは設計事業者の選定の時期であって、おそらく

アンケート調査の結果そのものは、もう少し早くなるのかと思う。

【吉井会長】

- ・今の私の質問はプロポーザルの質問であって、アンケートのことではない。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・おっしゃるとおり2か月後というのは、10月、11月を想定している。

【吉井会長】

- ・今後、いろいろなことが決まって行くと思うので、都度、報告をお願いします。
- ・それでは報告事項(2)廃校の利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査の結果について松崎次長から報告をお願いします。

【松崎次長】

（資料2により説明）

【吉井会長】

- ・質問等あるか。

（質問なし）

- ・それでは自主的な審議に移る。まず柿崎区地域協議会各委員会の取組状況について報告してもらおう。最初にスポ×まちプロジェクトについての報告を山川委員からしてもらおう。

【山川委員】

- ・本日、佐藤（昌）委員長が欠席のため代わりに報告する。

（資料3により説明）

【吉井会長】

- ・坂木委員、滝澤委員、追加事項あるか。

【坂木委員】

- ・特にない。

【吉井会長】

- ・意見交換会を5月に1回やっているが。

【山川委員】

- ・3団体の意見は出たが、事務局をどうして行くか、イベントをどういうふうに持っていくかなど、まだほかの団体のいろいろな意見を聞いてどういう問題点があるのかということをもう少し積み上げて行かないとまとまって行かないのではないかな。各団体の調整をこれから行い、意見交換会をして行きたい。

【吉井会長】

- ・そうすると3団体の意見交換会を踏まえて、まだたくさんスポーツ団体があるの

で、そういう団体と意見交換会をして行く予定であると。こちらの方である程度の地域協議会のアピール度やスポーツ団体としてまとまって行くにはこうした方が良いのではないかと、そういった資料を作って、それから各団体との懇談会のアポイントを取って進めて行こうという考えで良いか。

【山川委員】

・良い。

【吉井会長】

・質問、提案はないか。

(質問、提案なし)

・それでは(2)団体との懇談結果及び自主的審議事項のテーマについて小出委員から報告していただく。

【小出委員】

(資料4により説明)

【吉井会長】

・坂木委員、何か追加あるか。

【坂木委員】

・特にない。今、説明があったことをやってもらえれば良い。

【吉井会長】

・蓑輪委員、いかがか。

【蓑輪委員】

・子育て経験があるが、話を聞くとどこまで親として関わったか真剣に考えたら、非常に考えさせられることが多かった。話を聞けば聞くほど、本当に大切にしていかなければならない問題だと感じた。人口減少など国そのものに関わってくる。「子どもは宝」というのが本当に大事なテーマではないか。子育てに選ばれる地域ということで行政のサポート体制とか、会社のサポートと会社がサポートしやすい環境づくりということで官民一体となった地域づくりが必要になっていくのだと国策に関わるような大きな言い方になるが非常に大切なテーマだと感じた。

【吉井会長】

・中村副会長、追加説明あるか。

【中村副会長】

・ほとんど皆さんから言ってもらった。ただ懇談会の時に母親たちから言われた「この地域出身の父親について帰ってくる時に何を調べるか」というと、子育て環境がどこまで整っているかというのを母親が調べてついでくるかこないかを決める。」というようなことを言われたので今の問題も本気で考えないと移住先に選ばれなくなる可能性もあるのかとその時感じた。

【吉井会長】

・それでは、質問、意見等あったらお願いします。

【佐藤（達）委員】

・子どもの遊び場が欲しいということについて検討して行こうという話をしていた

と思うが、実際地域協議会のメンバーで協議をして地域協議会でできることを考えた時に、このテーマについて最終的なゴールはどんなイメージを話されたのか。

【小出委員】

- ・具体的な話はない。ただ、その話を委員の間で今後どうしようかと話をした時に、私のイメージであるが、まず一つ目はこどもセンターが頸北になくて坂木委員も随分市民プラザまで子どもを連れて遊びに行くのに苦労された。2か所あるところがここから離れたところだと具体的な話があったので、そういう実態を鑑みこどもセンターを頸北地区に作るというのは難しいかもしれないが、考えとしてはそういうイメージもある。ただこどもセンターを作るとすると運営団体が必要なので実際はかなり難しい。そうであれば、子育て広場を拡充してそれに近いものにできないかというイメージもある。具体的にできるかどうか詰めた話ではないが、話をしている中ではそんな話がメンバーの中から出ていた。
- ・そのほかにも児童公園がないということもある。全体として一番イメージしやすい内容として蓑輪委員や中村副会長が言ったような全体として子育てしやすい環境を作っていくということももちろんあるが、まずは遊び場がほしいという所から取り掛かってはどうか。それについて具体案があれば、要望書なり意見書が提出できれば良いというイメージを持っている。ただ、どこまでできるかはわからない。

【吉井会長】

- ・子育てメンバーとの懇談会は今回の新保育園を統合して作るというところから繋がってきていると思う。懇談会の中で聞きなれない言葉が「こどもセンター」、「子育てひろば」である。地域協議会でこれを取り上げて、勉強して区民の皆さんにお知らせするのも大事なのかと思った。今後、これを自主的審議事項にするかどうかというのは、今日の皆さんの話で決めることだが、佐藤（達）委員このくらいで良いか。

【佐藤（達）委員】

- ・地域協議会としてやれることが何かというのを考えながら活動して行くと分かった。

【吉井会長】

- ・先ほど蓑輪委員が言ったように広い。父親がどこまで入るかとか、中村副会長が言ったようにUターンで帰ってくる時に子育て環境がどうなっているかがあいまいだったら、母親たちに「そんなところに子どもを連れて帰れない、あなた一人で帰りなさい。」と言われ、子育て環境が整っているから一緒に付いていくと決めるという話を聞いた。これは非常に大事な話だと思った。自主的審議事項に上げた後で落としどころがどうなるのかというのは、手探りの状態で全くわからない。小出委員、追加説明あるか。

【小出委員】

- ・私自身が子育てをしたことがなくてこれに取り組むということが非常に大変な思いである。だからこそ見えるものもあるかもしれないと思っている。

【吉井会長】

- ・それでは、各委員から意見を聞きたいと思う。佐藤（ま）委員、いかがか。

【佐藤（ま）委員】

- ・本当に大切に不可欠な問題だとは思いますが、現実を見た時に今ちょうど保育園の統合と小学校の統合の問題が差し迫っている時なので、私個人としてはそこを統合するまでその2つを注視しながら保育園とそして統合した後の小学校がより良い形で統合した後ではないかと思う。そして皆でより良い形で小学校、保育園になるように後押しをしていけたらと思う。

【滝澤委員】

- ・ここで今すぐ自主的審議事項にするかしないかではなく、アンケートの回答を待ってからでも良いのではないか。

【佐藤（ま）委員】

- ・それに付け加えて、やはり小学校も保育園もこだわるが、全ての子どもたちに関わることなので一部ではなく、柿崎区すべての子どもたちに関わる問題なので、そちらを優先していくことが大切である。

【山川委員】

- ・話がずれてしまうかもしれないが、私も子どもを連れて都会から柿崎に戻ってきて、確かに子どもたちを育てやすい環境、遊び場等いろいろ含めて大変大事なことでと思っている。ただ、日々の生活で遊び場も含めて、子どもたちが楽しく遊んでいるということも、親が子どもを遊ばせる場所がないというのも一概には言えないが、広い意味でももう少し考えて行かないといけない。確かに都会よりも地方の方が行政とも近いという部分もあり、いろいろな意味で子育てしやすかったと思っている。その頃と今とは環境が違ってきて難しい問題も多々出てきているので、自分の経験だけでは一概には言えない。ただ大事な問題だということは思っている。これから少しずつ考えて行きたい。

【石田委員】

- ・私も今、子どもを育てている最中である。すぐに答えが出ることではないことは間違いない。ただ考えないで良いという問題でもない。人の感じているところをチョイスして拾ってくれている話なので、遊び場が少ないと思っている人もいれば、あるよという意見もあると思う。今すぐ委員会を立ち上げなくても良いのではないかとと思っている。別に蔑ろにしているということではなく、大事なことだと思うので勉強等をするのはやぶさかではない。

【金子委員】

- ・今、現実には保育園、小学校の動きがある。私は佐藤（ま）委員の意見に傾いてきている。ミクロな部分は大切なことである。蔑ろにはできないと思うが、ゴールがもしかすると市の行政に関わる部分なのかということもあったりするので、大切な問題であるし避けて通れない問題でもある。今どちらにと言われると、私個人はそこには参加できない。

【小出委員】

- ・佐藤（ま）委員の話はよくわかるが、小学校と保育園の統合問題に対して委員会

を作るということではない。そこへ関わるということはどういうことをイメージしているのか。逆にそちらに私たちができることがあれば、ぜひそちらを優先するという気持ちも良くわかる。私にもできることがあればそうしたい。優先順位が高くないというのはわかるが、小学校、保育園問題と比べるものなのか、私たちがそこに何ができるのか、佐藤（ま）委員がどうイメージされているのかと思った。

【坂木委員】

- ・私は、この懇談会に参加してみんなの意見を聞いた。その人たちだけの意見だけを聞くのはいかがというが、ほかの母親と話した時に「ここにできるのであれば併用して作ってもらいたい。」という意見もあったので、今意見を言えば作る時に間に合うかもしれない。間に合うのなら、意見を言っても良いのではないかな。

【中村副会長】

- ・先月の地域協議会で佐藤（ま）委員から、一部の母親の意見であって、ほかの母親たちなどの意見を聞いた上でないと公平性がないという感じであった。今、幼児保育課から関係者からアンケートを取るという話もあったので、その後でも良いのかと思う。

【吉井会長】

- ・7月15日に会議を持ち、今後の進め方で「8月19日の地域協議会で、委員会を立ち上げ自主的審議事項として取り組むことを提案し、参加してくださる委員を募ることとする。」ということが会議の結論になっている。ということはここにあるメンバーは一応この方向でということで話し合いを持った。それを今、いろいろな委員から意見を聞いたら幼児保育課からアンケートの説明があった。アンケートの結果が出たら地域協議会に紹介していただけるということなので、滝澤委員、中村副会長からあったように、そのアンケートを聞いた上でもう1回皆さんに自主的審議事項に上げるかどうかを協議していただきたいと思う。金子委員からこれは行政がやるべき問題ではないかという話があったが、行政でやるからこそ地域協議会が意見を言える。そういった面もあって、地域協議会の位置づけというのは、行政に対して我々が自主的審議事項で「こういうふうに思うから行政にお願いします。市長にお願いします。」というのが地域協議会の役割である。それから、全員の意見を聞かないと進められないのではなく、一部の人の意見も大事にするというのも、この地域協議会で重要視しているので、いろいろな方々からの意見を上げて、ここで協議してそれを行政に対して我々が提案できるものなのかどうかをここで審議するというのも我々の仕事だと思っている。今、皆さんからいろいろ意見を聞いた。アンケートの結果が出た後で、もう1回これを自主的審議事項とするかどうかを議論したいと思う。最終的に皆さんで自主的審議事項とすることになったら、その中でプロジェクトを立ち上げて委員の皆さんを募ってスタートしたいと思う。新保育園の設立に関わって、その中に盛り込むとすれば、そんなに時間が残されていないということを皆さんに理解していただきながら審議して行きたい。それで良いかな。

（一同異議なし）

- ・それでは、そういうことで進める。その他に移る。委員の方から報告事項、提案等あったら願います。

【佐藤（ま）委員】

- ・地域協議会だよりについてである。昨年度は3回発行した。その後も4年の任期中3回ずつと編集委員ではそのつもりでいた。4回ではないかという意見も聞いていたが、今の編集委員の中では毎年3回ずつの発行が妥当ではないかという意見であった。吉井会長からは今の委員からそのような意見が出ているのであれば、それを皆さんに伝えるので良いのではないかという話はあったので報告する。それで良いか。

【吉井会長】

- ・今、佐藤（ま）委員から報告があったが、地域協議会だよりというのは年間3回だ、4回だと決めてかかるものではないと思う。我々から地域の方々へ報告事項が多ければ回数も増やさなくてはいけないし、タイミングが時期尚早だとすれば、その間が長くなっても良いのではないかと思う。今、小学校の統合問題があり、これが行政から地域協議会に報告があったとしたら、すぐにでも地域協議会だよりを発行して皆さんにお伝えしたい。何回出すというのではなく、タイミングを見計らって地域協議会だよりを発行するということで編集委員の皆さんに願いたい。
- ・その他に移る。事務局、願います。

【長井班長】

- ・次の会議の開催日程を説明する。

(1)令和7年度第6回柿崎区地域協議会

(2)第8回米山薬師を守る会

(当日配布物について説明)

【吉井会長】

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後7時36分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。